

# 郷土参考図書リスト



茨城県立図書館

このリストは、茨城県の事柄を調べる際に、基本となる図書を収録し、解説を付したものです。

多くの方々が調査の際の道しるべとして、本リストを活用して下されば幸いです。

### 凡例

1. 茨城県全域を対象とする図書を中心に採録した。
2. 採録は、令和6年（2024）3月現在の茨城県立図書館の所蔵資料より行った。
3. 配列は、NDC（日本十進分類法）順とした。
4. 記載事項は、書名、著編者、出版者、出版年、請求記号を記載した。
5. 記載されているインターネット上の情報源については、最終アクセス日は、令和6年3月1日である。

改訂日：令和6年3月

## 総記

『茨城県郷土資料総合目録』常陽藝文センター 1983

請求記号 L025.8/12

茨城県下における国・県・市町村指定の文化財 1,966 タイトル、県内公共図書館・歴史館・大学図書館および類縁機関合わせて 20 館の所蔵する郷土文献 25,412 タイトルを収録。文化財の部は昭和 57 年（1982）3 月 15 日現在、文献の部は昭和 57 年 7 月～12 月現在となっている。巻末に書名索引、著者名索引、文献所蔵機関一覧を付している。

『新編常陸国誌』中山信名／修 栗田寛／補 宮崎報恩会／編集 常陸書房 1981

請求記号 L200/3/(3)

都邑、村落、山川湖、行路、神社、佛寺、故城、都址、墳墓、官職、氏族、人物、文苑、風俗、方言、産業、文書など総合的な研究書である。詳細な目次（索引）が付されている。

『茨城県大百科事典』茨城新聞社／編集 茨城新聞社 1981

請求記号 L200/119

茨城県に関する人文科学、社会科学、自然科学などすべての分野を網羅した総合的な事典である。約 5,500 項目を五十音順に配列している。巻末に「茨城県年表」「分野別索引」（歴史、地理、政治、産業・経済、原子力、筑波学園都市、社会、医療、教育、文化、スポーツ、宗教、民俗、自然科学、人物、文化財）などが五十音順に記載されている。

## 哲学・宗教

『茨城県宗教法人名簿』茨城県総務部総務課／編 茨城県総務部総務課 1995

請求記号 L160/イハ/1995

平成 7 年（1995）2 月現在で収録した神道系、仏教系、キリスト系、諸教系の宗教法人が、名称、事務所の所在地、代表役員氏名、認証年月日、登記年月日の順で記載されており、巻末に五十音順の索引および市郡別一覧、各系一覧が付されている。

『茨城県神社誌』茨城県神社誌編纂委員会／編集 茨城県神社庁 1973

請求記号 L175.2/イハ

昭和 43 年（1968）5 月、明治維新百年を機に茨城県内の神社 2,442 社（宗教法人神社数）を対象に、神社名、鎮座地、祭神、祭祀、由緒沿革等がまとめられている。

## 歴史

『茨城県史』茨城県史編集委員会／監修 茨城県 1972～1986

請求記号 L200/4/

茨城県の歴史をまとめた研究書である。「原始古代編」「中世編」「近世編」「近現代編」がある。巻末には索引が付されている。市町村編Ⅰ～Ⅲは、明治から現代までの歴史が市町村

別に記載されている。巻末に、参考文献、市町村人口表、市町村分合表が付されている。

『茨城県史料』茨城県立歴史館／編集 茨城県 1967～1996

請求記号 L200/5/

茨城県に関する古文書を多数収録している。

■考古資料編（Ⅰ先土器・縄文時代 Ⅱ弥生時代 Ⅲ古墳時代 Ⅳ奈良・平安時代）

古代編（茨城県東城寺出土経筒銘、水戸市神崎寺出土経筒銘、吉田神社文書ほか全国的な著書より茨城県関係記事抜粋）

■中世編（Ⅰ鹿島神宮文書、芹澤文書、税所文書、臼田文書ほか Ⅱ吉田神社文書・薬王院文書、蘆澤文書、小松寺文書、税所文書、彰考館所蔵文書、水府志料所収文書、六地藏寺文書ほか Ⅲ千妙寺文書ほか Ⅳ阿保文書、岡本又太郎元朝家蔵文書など茨城県以外所蔵文書 Ⅴ城下諸士文書、茂木文書、石川文書、伊達家文書、上杉家文書など茨城県以外所蔵文書）

■近世政治編（Ⅰ常陸水戸徳川家譜、常陸松岡中山家譜、寛文基式帳、水戸藩御規式帳、松岡分限帳、御郡方新撰御掟書、郡庁令達、水戸領郷高帳先高、御知行割郷帳、勘定方記録、編年史 Ⅱ笠間藩牧野家藩主・家臣団・藩政・藩領・財政・藩政改革などの関係記録 Ⅲ土浦藩土屋家藩主・家臣団・藩政・藩領・財政・藩主日記などの関係記録）

■近世社会経済編（Ⅰ土地・戸口、年貢・課役、町方・在方、産業・経営、商業・市場、交通・運輸、一揆・騒動などの地方史料 Ⅱ土地・戸口、林業、醸造業、商業、交通・運輸、鹿島灘漁業関係、霞ヶ浦・北浦・利根川・涸沼漁業関係などの史料 Ⅲ土地・戸口、貢租、在方・町方、醸造業、商業、宿場・助郷、河岸、治水、一揆・騒動などの史料 Ⅳ土地・戸口、貢租、諸産業、港・河岸、一揆・騒動などの史料 Ⅴ土地・戸口、貢租、諸産業、港・河岸、一揆・騒動、農村事情などの史料）

■近世地誌編（水府地理温故録、水府志料、常陸紀行、利根川図志）

■近世思想編・大日本史編纂記録（往復書案、史館雑事記、史館日次記書抜、続編議及び樸斎正議）

■幕末編（Ⅰ新伊勢物語、天保就藩記、楓軒先生密策、楓軒先生秘録 Ⅱ南梁年録 19-22、24-28、32-37、42-49 卷 Ⅲ常野集、南梁年録 76-89 卷）

■維新編（徳川昭武家記ほか各藩家記、公文録（各藩）、各村旧高簿、茨城県管内情勢一覽図）

■農地改革編（立法と実施機構、農村事情、実施過程、開拓、特長的事件、農地解放実績調査など）

■近代政治社会編（Ⅰ 県行政機構、民政行財政、地租改正、地租改正反対運動、新聞論調 Ⅱ 三新法と諸政策、地方税、自由民権論調、自由民権運動 Ⅲ 加波山事件 Ⅳ 行財政機構と諸政策、政治活動、新聞雑誌の論調 Ⅴ 日露戦争下の社会状況、地方改良事業など）

■近代産業編（Ⅰ 勸業、布達、著作、農業 Ⅱ 畜産業、林業、水産業、工業、鉱業、商業、金融業、交通運輸 Ⅲ 勸業、諸産業 Ⅳ 諸産業、電気・ガス事業など）

■近代統計編（行政、教育、産業）

■現代統計編（行政、教育、産業）

■戦後改革編（教育改革史料、労働改革史料）

『茨城県の歴史 県史 8』長谷川伸三／著 糸賀茂男／著 山川出版社 2011

請求記号 L200/43/(2)

茨城県の歴史がコンパクトにまとまっている。付録として、索引、年表、沿革表、祭礼・行事、参考文献が付されている。

『茨城県史年表』茨城県立歴史館／編集 茨城県 1996

請求記号 L200/5

原始・古代から昭和 45 年（1970）までの歴史年表である。原始を除いて見開き 2 ページに「政治・経済・社会」「文化」「国内・国際」の項目に分けて配列してある。巻末に、出典一覧と索引が付されている。

『茨城昭和時代年表』同時代研究会／編 常陽新聞社 1986

請求記号 L209.1/ジヨ/(2)

大正 15・昭和元年（1926）から昭和 60 年（1985）までの茨城県に関する年表である。「政治・経済」「社会・文化」の項目に分けて配列してある。参考文献、解説が付されている。昭和 51 年（1976）に刊行された『年表茨城五十年史』の改訂・増補版。

『茨城県幕末史年表』茨城県史編さん幕末維新史部会／編 茨城県 1973

請求記号 L200/73

文政 12 年（1829）5 月から慶応 3 年（1867）12 月までの詳細な年表であり、巻末に年表に掲げた人名のうち水戸藩に深い関係のある人名を五十音順に配列し、別称、死亡年月日を記載している。また幕末期に存在した県内諸藩の藩主名、襲封、家督、叙任等の年月日が付されている。

『茨城県の百年』金原左門／〔ほか〕著 山川出版社 1992

請求記号 L208/キ

茨城県の近代 100 年の歴史書である。巻末に事項索引、天保元年（1830）から平成 3 年（1991）までの年表、幕末・明治時代から現代までを対象に、平成 3 年までに刊行された参考文献が付されている

『茨城県地方史研究文献目録』茨城大学史学会／編 茨城大学歴史研究会／編 茨城大学史学会 1959

請求記号 L025.8/5

茨城県地方の先史より明治年間の歴史事象に関して、明治11年(1878)から昭和32年(1957)までに発表された著書、論文、年表、索引等1,043点を収録。附録に参考文献と収載雑誌発行所一覧が付されている。

『茨城県中世史年表(稿)』茨城県史編さん中世史部会／編 茨城県 1967

請求記号 L206/イ

茨城県の中世史に関連する歴史の諸事件の概要を年代順に配列している。治承4年(1180)から寛永16年(1639)までの事項を収録し、各項ごとに関係ある文献を紹介している。

『茨城県百姓一揆総合年表』斎藤善之／著 中・近世一揆研究会 1989

請求記号 L207/サ

『日本中・近世一揆史総合年表』の茨城版であり、今までに刊行された年表の内容をとり込んで作成されている。

①時期②地域③年代異説④通称⑤参加⑥指導⑦対象・形態⑧要求⑨経過⑩結果⑪義民・伝承⑫特記⑬史料⑭文献で構成され、慶長7年(1602)から明治9年(1876)まで記載されている。

『茨城県地理学論文・文献目録集』全国地理教育研究会／共編 茨城県高等学校教育研究会地理部／共編 全国地理教育研究会 1980

請求記号 L280/ゼン

文献目録(P.145~192)は相沢義雄編である。県内のはじめての地理関係の文献目録で、自然、地誌、歴史地理、集落地理、商業経済地理、地図地名、地理教育等の項目別に著者、研究テーマ、雑誌名、発行者、発行年が記載されている。「はじめに」に参考文献が掲げられている。

## 人物

『茨城県人物・人材情報リスト』日外アソシエーツ株式会社／編集 日外アソシエーツ 1994～

請求記号 L270.1/1/

現在活躍中の人物を中心に、物故者及び在日外国人も含めた茨城県関係者を収録している。名前の五十音順目次、活動分野別索引が付されている。記載内容は、人名、人物プロフィール、図書・雑誌・新聞の関連記事が最近の文献として記載されている。

『茨城人事録』茨城新聞社 1974~1997

請求記号 L270.1/8/

県内外で活躍する本県在住者、出身者のプロフィールが記載されている。内容は、氏名、肩書、現住所、生年月日、学歴、経歴等であり、対象者が多い。『茨城紳士録』の改題で1980

年版からは4～5年に1度刊行されている。1988年版からは「茨城県企業情報」が付され、原則として資本金3,000万円以上が紹介されている。

『20世紀茨城の群像』茨城新聞社編集局／編集 茨城新聞社 1999

請求記号 L273/イ<sup>6</sup>

1900年代から1998年にかけて活躍した100名が収録されている。各人の紹介は、2ページにわたる。

『郷土史にかがやく人びと』郷土史にかがやく人びと編集委員会 青少年育成茨城県民会議 1971

請求記号 L273/キ

41名の人物が収録されている。巻末には、嘉永6年(1853)から昭和40年(1965)までの略年表が付されている。

『輝く茨城の先人たち』茨城県立歴史館／編集 茨城県生活環境部生活文化課 2008

請求記号 L273/イ<sup>6</sup>

茨城県ゆかりの人物41人の功績や生き方が、2ページにわかりやすくまとまっている。生家、資料館、記念碑等がゆかりのスポットとして紹介され、おもな参考文献が記載されている。

インターネットで閲覧可

「茨城の先人たち」(茨城県県民生活環境部生活文化課)

<https://www.bunkajoho.pref.ibaraki.jp/senjijin.html>

『郷土歴史人物事典 茨城』佐久間好雄／編著 第一法規出版 1978

請求記号 L273/カ

第1部「古代～江戸」、第2部「明治～昭和」、第3部「郷土の人物100人」からなり、300人弱を紹介している。巻末に人物年表、参考文献、人名索引(五十音順、ルビ)が付されている。

『茨城の顔』室伏勇／〔著〕 茨城新聞社 1969

請求記号 L273/カ

幕末から明治40年代にかけて活躍した人物73名が収録されている。各項目の最後に覚え書きとして、その人物の略歴が付されている。

## 地理

『茨城県の地名 日本歴史地名大系8』平凡社 1982

請求記号 L281/4

行政地名、人文地名、自然地名、歴史的建造物や遺構なども採録した歴史地名辞典。解説は、文学的要素や民間伝承なども引用紹介している。巻末に文献解題、行政区画総覧、石高一覧、難読地名一覧などがあり、五十音順索引が付されている。

『茨城県 角川日本地名大辞典 8』「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編 角川書店 1983  
請求記号 L281/5

総説に続いて地名編（五十音順）、地誌編（市郡町村の沿革）、資料編、（小字一覧、国郡沿革表、藩県沿革表、年中行事、参考地図）、茨城県参考図書目録（通史、原始・古代・中世、近世、地域史、諸史－政治、経済、教育、産業等）から構成されている。

## 政治

『茨城県警察史』茨城県警察史編さん委員会／編集 茨城県警察本部 1971、1976  
請求記号 L324/5/

上巻には、明治以前・明治時代・大正時代の警察を収録。下巻には、昭和時代（戦前・戦後）の警察を収録。各巻末に年表、主要参考文献が付されている。

『茨城県市町村合併史』茨城県総務部地方課→茨城県総務部市町村課／編集 茨城県地方自治研究会→茨城県総務部市町村課 1958、2008

請求記号 L326.1/3/

1958年刊行のものは、昭和の大合併の経緯を把握出来、2008年刊行のものは、平成の大合併の経緯を把握出来る。市町村等の概況では、合併前後の市町村の基礎データが記載されている。

『茨城県議会史』茨城県議会史編さん委員会／編さん 茨城県議会事務局 1962～1979  
請求記号 L334.1/6/

第1巻から第4巻までは、明治維新の成立から終戦までの県議会の進展を述べ、第1回通常会から昭和21年定例会までの県議会の記録が収録されている。各巻末に歴代茨城県会議員略歴（出身地、任期、選挙区、生年月日、歿年月日、家業、略歴）が付されている。1巻は明治12年（1879）から22年（1889）、2巻は明治23年（1890）から44年（1911）、3巻は大正元年（1912）から15年（1926）、4巻は昭和2年（1927）から22年（1947）までの議員を網羅している。戦後編には戦後の混乱期から昭和40年までの概観と昭和22年の第1回定例会から昭和40年までの概観と昭和22年の第1回定例会から昭和40年の第4回定例会までの記録を掲げ、巻末に議会史年表を付している。資料編には、議員選挙結果、議員名簿・略歴、請願・陳情、法規等が収録されている。

## 経済

『主要企業要覧 北関東版』帝国データバンク 2010～  
郷土雑誌

『週刊帝国ニュース 茨城県版』の新年特集号として毎年刊行されている。業種別、五十音順に配列されている。TDB企業コード、社名、所在地、代表者名、業種、従業員数、年商、税引後純利益が記載されている。



## 統計

『茨城県市町村概況』茨城県総務部市町村課／編 茨城県総務部市町村課 1974～  
請求記号 L331/1/

各市町村の沿革、地勢風土、三役・正副議長、行政機構、前年度決算が記載されている。他に行財政関係資料として、人口・面積・姉妹都市等の提携、事業の状況など全県下の状況が把握できる。

[インターネットで閲覧可](#)

「茨城県市町村概況」（茨城県）平成 14 年度～

<https://www.pref.ibaraki.jp/somu/shichoson/gyosei/gaikyo/gaikyo.html>

『茨城県統計年鑑』茨城県政策企画部統計課／編集 茨城県政策企画部統計課 1971～  
請求記号 L350/4/

茨城県の土地・気象、人口、産業、教育・文化、生活環境から県・市町村の財政にいたるまで、広範な分野にわたる基本的な統計データが収録されている総合統計書である。

[インターネットで閲覧可](#)

「茨城県統計年鑑」（茨城県）昭和 45 年度～

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/tokeisyo/index.html>

「国立国会図書館デジタルコレクション」（国立国会図書館）昭和 45 年度～平成 28 年度

<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/11314957>

『茨城県社会生活統計指標』茨城県政策企画部統計課／編集 茨城県政策企画部統計課  
1982～ ※令和 4 年版で廃刊

請求記号 L365.5/1/

自然環境、人口・世帯、経済基盤、財政、学校教育、医療、健康などの市町村別基礎データを収録し、12 の各生活分野別に体系的に編集したもの。内容は、「個別指標値及び市町村順位」「基礎データ」「基礎データの説明」の 3 部構成。巻末に、項目索引が付されている。

[インターネットで閲覧可](#)

「茨城県社会生活統計指標」（茨城県）平成 16 年～令和 4 年

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/tokeisyo/index.html>

「国立国会図書館デジタルコレクション」（国立国会図書館）平成 16 年～令和元年

<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/11689093>

## 教育

『茨城県教育資料』茨城県教育史研究会／編集 茨城県教育史研究会 2001～2021  
請求記号 L370.4/1/

2014 までのタイトルは『茨城県教育史料』。年表編は、各年度の「本県教育の歩み」「我が国の教育の動向」などが記載されている。資料編として、答申・報告等、主要法令、主要施策、主要通知・通達等を確認できる。教育統計編では教育関係統計が収録されている。

『茨城県教育史』 櫻村勝／著 茨城県教育会／編集 常陸書房 1980

請求記号 L370.4/14/(2)

上巻には、学制頒布以降における本県の初等教育の発達変遷に関する事項を収録。巻末には、参考資料と昭和32年5月1日現在の小学校・中学校の校長名一覧が付されている。下巻には、本県の中等教育、高等専門教育、社会教育等の変遷状況を収録。巻末には付表と、明治5年から昭和30年までの茨城県教育史年表、昭和34年12月1日現在の茨城県立高等学校長一覧、茨城県教育諸団体一覧が付されている。

## 民俗

『茨城県の祭り・行事』 茨城県教育庁文化課／編集 茨城県教育委員会 2010

請求記号 L386/24

平成19年度(2007)から平成21年度(2009)までの3ヵ年で実施した「茨城県祭り・行事調査」の報告書である。51の項目について、詳細調査報告としてまとめられている。資料編では、茨城県祭り・行事調査一覧があり、市町村別配列になっている。巻末に、茨城県祭り・行事関係参考文献一覧が付されている。

『茨城の民謡—民謡緊急調査報告書』 茨城県教育庁文化課／編 茨城県教育委員会 1987

請求記号 L389/3

昭和60年度(1985)から61年度(1986)にかけて県内の民謡を一斉に調査したもの。調査民謡編には収録した民謡が紹介されており、資料編は調査民謡が、民謡種類別、市町村別の一覧できるようになっている。

## 自然科学

『茨城の科学史 正・続』 朝日新聞水戸支局／編集 常陸書房 1983、1985

請求記号 L402/1/

茨城の科学技術全般にわたる研究書である。それぞれの巻末に茨城県科学・技術史年表稿、研究文献目録、五十音順索引が付されている。

『茨城県気象災害誌』 水戸地方気象台／編 水戸地方気象台 1977

請求記号 L451.9/27

明治34年(1901)から昭和45年(1970)までの、茨城県での70年間の異常気象・気象災害を年代を追って掲載している。年代順一覧表に現象を記し、主だった状況を調査表、天気図等を交えながら解説しており、全体が年表形式になっている。巻末に、異常現象別索引が付されている。

『茨城における絶滅のおそれのある野生生物 茨城県版レッドデータブック』茨城県生活環境部環境政策課→茨城県県民生活環境部自然環境課茨城県生物多様性センター／編集 茨城県生活環境部環境政策課→茨城県県民生活環境部自然環境課茨城県生物多様化センター 2013、2016、2020

請求記号 L461/23/

植物編（2012年改訂版）、動物編（2016年改訂版）、蘚苔類・藻類・地衣類・菌類編がある。絶滅のおそれのある野生動植物種を選定し、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を評価してリスト化し、解説を加えたもの。巻末に、和名索引が付されている。

インターネットで閲覧可

「茨城県版レッドリスト・レッドデータブック」（茨城県）

レッドデータブックのサンプルがダウンロードできます。

[https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/shizen/tayousei/redbook/ibaraki\\_redbook.html](https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/shizen/tayousei/redbook/ibaraki_redbook.html)

『茨城県産鳥類の目録』茨城県鳥獣センター／〔編〕 茨城県鳥獣センター 1969

請求記号 L463/18

茨城県内において、観察または採集された18目52科（138属）254種の鳥類を収録している。配列は日本鳥学会で決められたものに従って、和名、学名、生息の多少、県内分布地等および必要に応じ記録や特記事項を添えている。巻末に野鳥月別観察表（昭和40年1月～44年3月）、種名索引が付されている。

『茨城県医師会史』茨城県医師会史編纂委員会／編 茨城県医師会 1978～2018

請求記号 L490.6/13/

茨城県の医事を年代順にまとめたもの。「大正編」「昭和戦前編」「昭和戦中終戦編」「昭和戦後編」「昭和後期編1」「昭和後期編2」「昭和終期編」「平成編1」「平成編2」「平成編3」「平成編4」がある。各巻末には茨城県医師会史関係年表が付されており、「県医師会関係事項」「衛生行政関係事項」「一般事項」の項目に分けて配列してある。「昭和後期編2」までは、巻末に索引が付されている。同シリーズには「戦後30年史」があるが、これは太平洋戦争の終結した年から昭和50年までの30年間について、項目ごとにまとめた資料である。県医師会日誌から抜粋した年表が付されている。

明治期の医事史については、『茨城県医事史 明治前期編・明治後期編』（石島弘／著、常陸書房、1979・1981、請求記号L490/4）が刊行されている。巻末に茨城県医事史年表が付されている。

## 工学

『工場ガイド 千葉・茨城県』データフォーラム／編 データフォーラム 2007

請求記号 L503.5/7/(3)

製造業関連のあらゆる業種について工場、本社機構、研究所など、所在が確認できた事業所すべてが収録されている。記載項目は、社名、住所、代表者、営業品目、従業員規模、資本規模。市町村別に分かれており、社名の五十音順に記載されている。

## 産業

『茨城県の近代化遺産』茨城県教育庁文化課／編集 茨城県教育委員会 2007  
請求記号 L602/19

平成 17 年度（2005）から平成 18 年度（2006）にかけて、概ね江戸時代末から第二次世界大戦終結までの期間に近代的技術や素材で作られた、第一次産業・第二次産業・第三次産業、交通・通信、土木、教育・文化、軍事等に係わる建造物や土木構造物等の近代化遺産を調査した報告書である。近代化遺産が紹介されており、参考文献が付されている。近代化文化遺産一覧表では、市町村別に確認できる。

『茨城県農業史 5 巻、8 巻』茨城県農業史研究会／編 茨城県農業史編さん会 1969、1973  
請求記号 L612/12/

『茨城県農業史』全 8 巻のうち、5 巻は農業関係人物略歴（五十音順・付引用文献）と明治元年（1868）から昭和 20 年（1945）8 月〔終戦〕までの年表が収録されており、8 巻には昭和 20 年 8 月から昭和 40 年（1965）までの年表が収録されている。また 8 巻には全 8 巻の総目次、『茨城県農業史資料』1～25 号の総目次、『茨城県農業史』総索引（事項、人名、地名、文献、統計表）が付されている。ほかに内部資料があり、文献目録が掲げられている。

『茨城の酪農』茨城県酪農史編さん委員会／編 茨城県酪農協同組合連合会 1981  
請求記号 L642/5

茨城酪農の歩みとして、明治以前からの酪農動向がまとめられている。第 3 編資料・年表には、茨城県酪農の動向、歴代茨城県酪農関係者一覧、茨城県酪農の現況等の統計資料が収録されている。巻末には年表が付されており、明治 12 年（1869）から昭和 55 年（1980）までが、「県内酪農の状況」「社会の情勢」の項目に分けて配列してある。

『茨城県歴史の道調査事業報告書』茨城県教育庁文化課／編 茨城県教育委員会 2013～2015  
請求記号 L682/19/

平成 22 年度（2010）から平成 26 年度（2014）の 5 カ年計画で実施した、歴史の道調査事業の報告書である。古代編として「古代東海道と古代の道」、中世編として「鎌倉街道と中世の道」、近世編Ⅰとして「水戸道中」、近世編Ⅱとして、「日光道中」「関宿通多功道」「結城道」「瀬戸井道」、近世編Ⅲとして「岩城相馬道」「棚倉道」「南郷道」「那須道」「宇都宮道」「飯沼道」を取り上げている。古代編、近世編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲには、巻末に参考文献が付されている。

## 芸術・美術

『茨城の美術史 明治・大正・昭和』茨城県立美術博物館／編 茨城県立美術博物館 1972  
請求記号 L702/1

明治前半の美術、明治の画人、洋画の先駆者たち、水戸の金工、岡倉天心と前期日本美術院の五浦時代、横山大観とその周辺、中村彝とその周辺、白牙会の誕生とその前後、板谷山と茨城工芸展など中央の美術史と本県の美術史の流れを対比させながら総合的にとり上

げている。茨城県立美術館の誕生と、県の展覧会にもふれている。巻末に茨城県美術年表、茨城県美術家名簿、参考文献が付されている。

『茨城の芸能史』茨城文化団体連合／編 茨城県教育委員会／編 茨城文化団体連合 1977  
請求記号 L702/3

古代の神々と芸能（囃歌）、中世宗教と芸能（田楽）、近世の振興芸能（大薩摩座、都々一坊扇歌）、近代の芸能（演劇、民謡）、昭和期の伝等継承の芸能と民俗芸能等総合的にとりあげている。巻末に芸能史年表、有形無形民俗文化財一覧、参考文献が付されている。

『現代茨城美術家名鑑』現代茨城美術家名鑑編集委員会／編集 茨城新聞社 2003  
請求記号 L703/2

茨城の美の変遷として、近代からの美術の概観がまとめられている。日本芸術院会員、日本画、洋画、版画、彫刻、工芸美術、書、写真、デザイン、総合造形の9分野に分けて、現代茨城の美術家の略歴と肖像及び作品の写真が収録されている。巻末に、茨城の美術団体、茨城の美術館の一覧が付されている。

『茨城の文化財』茨城県教育委員会／編集 茨城県教育委員会 1954～  
請求記号 L709.1/1/

文化財保護法及び茨城県文化財保護条例に基づいて、国および県指定文化財になったものを掲げ解説をしている。各冊の末尾には、有形文化財、無形文化財、有形民俗文化財、無形民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物、工芸技術、風俗慣習、民俗芸能の各部を種類、名称、数、所在地及び管理者、指定年月日の項目表で紹介し、数の一覧表も付されている。

インターネットで閲覧可

「いばらきの文化財」（茨城県教育委員会）直近2年分

<https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/art-and-culture/ibaraki-bunkazai/>

## 言語

『茨城方言民俗語辞典』赤城毅彦／編 東京堂出版 1991  
請求記号 L818/7

茨城県内の方言と民俗語が収録されている。巻頭に出典一覧（書籍・雑誌）が五十音順で記載されており、茨城方言概観に続いて約3万語の方言が五十音順に配列されている。

## 文学

『茨城の文学史』茨城県教育委員会／編 茨城文化団体連合／編 茨城県教育委員会 1975  
請求記号 L910.2/イハ

明治期から昭和49年(1974)までを近代文学の萌芽、近代文学の成立、近代文学の展開、戦後文学の展開、短歌と俳句に分け、小説、詩、戯曲、短歌、俳句など総合的にとり上げている。巻末に参考文献・年表があり、年表については、昭和50年(1975)から昭和60年

(1985)までの補遺『茨城の文学史年表』（木脇紀美子編）が刊行されている。

『茨城俳句史 1 〈史料篇〉』茨城俳句の会／編 茨城俳句の会 1985

請求記号 L910.2/4ハ /1

茨城の俳壇年譜（戦前おぼえ、戦後 35 年）、茨城の物故俳人年譜、茨城の俳句著作年譜、茨城俳句作家（五十音順）、茨城の俳句雑誌・解題（五十音順）、県外誌における茨城俳人脈等から構成されている。